

# 2021 年度事業報告書

2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで

2022 年 6 月 12 日

特定非営利活動法人 イカオ・アコ

## 目 次

- 1 2021 年度活動報告
- 2 2021 年度会計報告
- 3 2021 年度会計監査報告

# 1. 2021 年度活動報告

## 1.1 総括

2021 年のイカオ・アコの活動実績として、

(1) イオン環境財団、ニチバン株式会社、リコージャパン株式会社、日中友好会館から助成金、寄付金をいただき、単年度で 129,551 本、累計で 186 万本の植林を達成した。単年度で植林数が例年以上に回復している。

(2) N 連のイチゴプロジェクトによるアグリツーリズムが立ち上がり、パタグ村にイチゴという新たな価値を加えた観光に取り組む。

(3) 2019 年、2020 年の 2 年間の Panasonic の支援を受けて、組織基盤強化を行ったが、継続してステークホルダーへのアウトリーチを実現するための仕掛けを模索中である。

(4) ボホールでは、植林の他に 3 年目の積水ハウス、三井物産の支援を受け、安全な水の供給を地域や学校に行った。

を挙げることができる。

このコロナ禍や新規事業の展開の準備不足からイカオ・アコの活動が 2020 年度に引き続き、後退した。

(5) 自主事業であるボランティア受け入れ、日本企業の研修の実施ができなかった。さらにオーガニックカフェ MIDORI を閉鎖したままである。

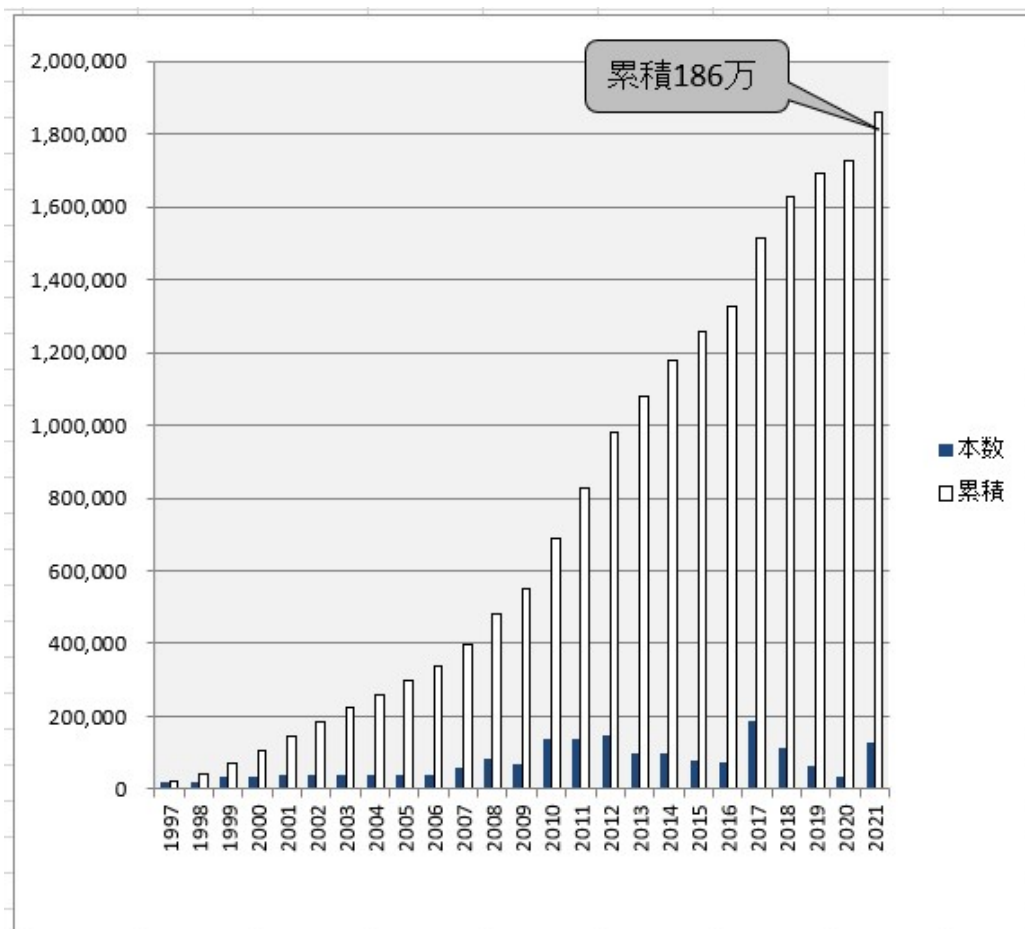
(6) 自主事業だけでなく、2020 年度の準備不足から助成金が減少しており、不足分を企業寄付、N 連で補うことができた。

## 1.2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

助成事業、委託事業として、以下の 5 本を実施した。

- ① 「農家の生計向上を目指す高品質イチゴの観光農園の普及事業」、外務省 N 連
- ② 「マングローブの植林と環境教育」、イオン環境財団
- ③ 「雨水のリユースシステム構築による、安全な飲料水と適切な衛生環境を提供する事業」、三井物産環境基金
- ④ 「小学校に安全な水を提供するための雨水再利用システムの構築プロジェクト」、積水ハウスマッチングプログラム
- ⑤ 「気候変動を抑止するマングローブ林の再生事業」、日中友好会館



収入内訳 (2019年度)	会費	20万円	0.5%	自主事業	602万円	15.9%
	寄付金	406万円	10.7%	受託事業	954万円	25.2%
	助成金/補助金	1,800万円	47.6%	その他	0万円	0.0%

収入内訳 (2021年度)	会費	10万円	0.2%	自主事業	0万円	0.0%
	寄付金	810万円	18.3%	受託事業	2,700万円	60.9%
	助成金/補助金	910万円	20.5%	その他	0万円	0.0%

(2) その他の事業に係る活動

このコロナ禍により、その他事業の実施は無い。収入と支出もゼロである。

## 1.2 会議の開催に関する事項

### (1) 総会

#### ① 開催日時及び場所

2021年6月6日 20:00～21:00 オンライン

#### ② 議題

- ・2020年度活動報告
- ・2020年度会計報告
- ・会計監査報告
- ・2021年度事業計画

### (2) 理事会

#### ① 第1回理事会

・開催日時及び場所 2021年6月6日 19:00～20:00 オンライン

#### ・議題

2020年度活動報告案について

#### ② 第2回理事会

・開催日時及び場所 2022年2月6日 19:00～20:00 オンライン

#### ・議題

2021年度事業進捗について

イカオ・アコの中期ビジョン改訂版(案)				2022年～24年		
事業名	植林事業	農業の6次産業化	安全な水供給事業	ソーシャルビジネス事業	国内活動	組織運営
これまでの実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ mangrove グループ・上流部併せて186万本の植樹、参加者は毎年のべ3,000人</li> <li>・ バラリン・ボカナ・ピクトリアスにエコパーク造成</li> <li>・ バラリンの住民団体が自立しつつある</li> <li>・ 日本の大企業がCSRとしてイカオ・アコの活動を支援</li> <li>・ 山間部では植林したコーヒー・カカオの収穫・商品化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 肥料・イチゴ栽培の専門家の派遣</li> <li>・ 苗会社、肥料会社との連携</li> <li>・ ボホールに大規模液肥施設の建設 (JICA草の根技術協力事業)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本水大賞受賞</li> <li>・ バリグアンとシバトにランパンプを設置し、学校や地域に水を供給</li> <li>・ ボホールで4地域に雨水を活用した供給システムを建設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オーガニックカフェ経営7年間</li> <li>・ フェアトレード12年間</li> <li>・ 国際協力研修センター運営8年間</li> <li>・ クラウドファンディングの経験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 桜丘高校などで特別授業</li> <li>・ ニチバン国内植林に参加</li> <li>・ 各種研修に参加しネットワーク構築</li> <li>・ ESDコンテスト、七夕短冊コンテスト等のイベントを開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本本部事務所を移転 (名古屋NGOセンターと同居し、情報共有などのメリットを追求)</li> <li>・ Panasonic助成金を受け組織基盤強化に取り組む</li> <li>・ 事務局職員を採用</li> <li>・ 会員管理ソフトを導入</li> </ul>
中期ビジョン	植林参加の目的を多様化する	自立的な農業のモデルを作る	安全な水を地域・学校に届ける	ソーシャルビジネスを独立採算制にする	SDGsへの取り組みが多くの人々に知られる 参加型イベントが不定期に行われる	働きやすい職場環境が整い、活動の支援ができる 効果的な会員制度が完成
重点活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 植林事業の見える化の取り組み (植林木数・映像・画像・ツールなど)</li> <li>・ エコパークを活用したエコツーリズムの再構築</li> <li>・ 植林ビジネスの展開 (記念植樹・mangrove ウェディング・オーナー制度)</li> <li>・ バガバットフェスティバルなどの植林イベントを開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門家現地派遣</li> <li>・ 現地スタッフの本邦研修</li> <li>・ イチゴの栽培をネグロスの高地に拡散</li> <li>・ イチゴ農園の観光化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ モデル地区に給水設備を設置しモニタリングを実施</li> <li>・ 省エネルギー・省資源の利水技術をマスター</li> <li>・ 他地域に展開できる準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビジネスの専門家の派遣</li> <li>・ ビジネスパートナー (現地スタッフ) の雇用</li> <li>・ カフェ、研修センターの再建 (事務所を含む)</li> <li>・ 研修センターを学生だけでなく、企業研修の受け皿に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不定期に会員同士が交流できる場の設置</li> <li>・ 広報に関して①SNSの強化②HPの改訂③広告の活用</li> <li>・ フェアトレードグッズを発掘し、国内で販売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会員制度の構築 (既存の個人情報の利用、効果的な会員特典、中高生向けの会員制度、入金確認がスムーズにできる管理システムの導入など)</li> <li>・ 人事制度・就労規則・研修制度などの整備</li> <li>・ 国内インターン・ボランティア・プロボノの受け入れ</li> <li>・ 総会・理事会の定期開催</li> </ul>
3年目標と成果指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年間植林参加者数が、日本人100人、フィリピン人2,000人</li> <li>・ 植林に関するビジネス・事業が立ち上がる</li> <li>・ エコパークの建設、そのための資金の獲得 (橋・タワー・看板など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イチゴの生産性を日本水準に接近 (1.5 t /10a)</li> <li>・ 観光化促進のため、加工場とカフェの建設</li> <li>・ 温室18棟建設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山間部・島しょ部に合った給水技術を啓発</li> <li>・ 1年に1校以上のペースで学校に安全な水を届ける</li> <li>・ 上記のノウハウを持ったコーディネータを2名以上育成</li> <li>・ 行政・住民が参考にできるマニュアルの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オーガニックカフェの赤字が解消</li> <li>・ 自前の研修センターの建物の建設のため、土地を取得し、コンバ方式で設計計画を決定</li> <li>・ 日本企業の研修施設としてセンターの活用を計画する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国内で定期的に活動</li> <li>・ 会員同士の顔の見える関係</li> <li>・ HPの改訂の実施</li> <li>・ HPのアクセス数の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人事制度・就業規則の整備</li> <li>・ 国内外でスタッフを12人雇用</li> <li>・ 総会・理事会の定期的な開催</li> <li>・ 有料会員数が30人</li> <li>・ 年間の個人寄付と会費収入が合計18万円</li> </ul>

## 2. 2021 年度会計報告

活動計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合 計
<b>I 経常収益</b>			
<b>1. 受取会費</b>			
正会員受取入会金			0
賛助会員入会金			0
正会員受取会費	99,000		99,000
賛助会員受取会費	109,505		109,505
<b>2. 受取寄付金</b>			
受取寄付金	7,898,535		7,898,535
<b>3. 受取助成金等</b>			
受取助成金	37,765,910		37,765,910
<b>4. 事業収益</b>			
熱帯林再生のための事業	21,620		21,620
自然調和型の職業訓練と就労支援事業	0		0
地域住民に対する環境教育事業	0		0
環境や地域の実態調査と改善を行うためのフィンビリティ調査事業	0		0
海外での日本語教育のための教師、アシスタントの派遣事業	0		0
日比間の伝統、手工芸、音楽、芸術、スポーツ等を通じた文化交流事業	20,000		20,000
フェアトレード事業	0		0
<b>5. その他収益</b>			
受取利息	150		150
雑収入			0
<b>経常収益計</b>	<b>45,914,720</b>	<b>0</b>	<b>45,914,720</b>
<b>II 経常費用</b>			
<b>1. 事業費</b>			
<b>(1) 人件費</b>			
給料手当	10,944,871		10,944,871
法定福利費	0		0
<b>人件費計</b>	<b>10,944,871</b>	<b>0</b>	<b>10,944,871</b>
<b>(2) その他経費</b>			
諸謝金	468,000		468,000
会議費	64,136		64,136
旅費交通費	558,246		558,246
通信運搬費	305,606		305,606
消耗品費	19,121,611		19,121,611
賃借料	690,000		690,000
業務委託費	2,865,320		2,865,320
研修費	4,000		4,000
支払手数料	19,875		19,875
修繕費	791,757		791,757
新聞図書費	3,818		3,818
保険料	15,150		15,150
<b>その他経費計</b>	<b>24,907,519</b>	<b>0</b>	<b>24,907,519</b>
<b>事業費計</b>	<b>35,852,390</b>	<b>0</b>	<b>35,852,390</b>
<b>2. 管理費</b>			
<b>(1) 人件費</b>			
役員報酬	0		0
給料手当	3,286,661		3,286,661
法定福利費	472,058		472,058
<b>人件費計</b>	<b>3,758,719</b>	<b>0</b>	<b>3,758,719</b>
<b>(2) その他経費</b>			
諸謝金	26,262		26,262
印刷製本費	38,500		38,500
会議費	42,243		42,243
旅費交通費	192,387		192,387
通信運搬費	123,070		123,070
消耗品費	165,614		165,614
賃借料	480,179		480,179
交際費	2,160		2,160
水道光熱費	144,588		144,588
修繕費	338,836		338,836
業務委託費	544,071		544,071
支払手数料	35,200		35,200
支払寄付金	33,000		33,000
新聞図書費	16,052		16,052
諸会費	90,000		90,000
租税公課	151,254		151,254
雑損失	4,326		4,326
雑費	310,042		310,042
<b>その他経費計</b>	<b>2,737,784</b>	<b>0</b>	<b>2,737,784</b>
<b>管理費計</b>	<b>6,496,503</b>	<b>0</b>	<b>6,496,503</b>
<b>経常費用計</b>	<b>42,348,893</b>	<b>0</b>	<b>42,348,893</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>3,565,827</b>	<b>0</b>	<b>3,565,827</b>
<b>III 経常外収益</b>			
1. 過年度損益修正益			0
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>IV 経常外費用</b>			
1. 過年度損益修正損			0
<b>経常外費用計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>経理区分振替額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>当期正味財産増減額</b>	<b>3,565,827</b>	<b>0</b>	<b>3,565,827</b>
<b>前期繰越正味財産額</b>			<b>17,019,849</b>
<b>次期繰越正味財産額</b>			<b>20,585,676</b>

# 貸借対照表

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人イカオ・アコ

単位:円

科目・摘要	金額	
<b>I資産の部</b>		
<b>1流動資産</b>		
現金預金	20,560,726	
未収金	0	
前払費用	0	
立替金	0	
<b>流動資産合計</b>		20,560,726
<b>2固定資産</b>		
車両運搬具	0	
減価償却累計額		
什器備品	0	
減価償却累計額		
電話加入権	0	
<b>固定資産合計</b>		0
<b>資産合計</b>		<b>20,560,726</b>
<b>II負債の部</b>		
<b>1流動負債</b>		
未払金	13,050	
預り金	-38,000	
<b>流動負債合計</b>		-24,950
<b>2固定負債</b>		
長期借入金	0	
<b>固定負債合計</b>		0
<b>負債合計</b>		<b>-24,950</b>
<b>III正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産額	17,019,849	
当期正味財産増加額	3,565,827	
<b>正味財産合計</b>		<b>20,585,676</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>		<b>20,560,726</b>

# 財産目録

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人イカオ・アコ

単位:円

科目・摘要		金額	
<b>I資産の部</b>			
<b>1流動資産</b>			
現金預金			
現金	現金手許有高	9,793,373	
普通預金	三菱UFJ銀行武豊支店	3,241,904	
普通預金	ゆうちょ銀行108支店	3,398,548	
普通預金	新生銀行名古屋支店	3,118,901	
普通預金	楽天銀行第三営業支店	1,008,000	
未収金		0	
前払費用		0	
立替金		0	
<b>流動資産合計</b>			<b>20,560,726</b>
<b>2固定資産</b>			
車両運搬具		0	
什器備品		0	
<b>固定資産合計</b>			<b>0</b>
<b>資産合計</b>			<b>20,560,726</b>
<b>II負債の部</b>			
<b>1流動負債</b>			
未払金		13,050	
前受金		0	
預り金		-38,000	
<b>流動負債合計</b>			<b>-24,950</b>
<b>2固定負債</b>			
長期借入金		0	
<b>固定負債合計</b>			<b>0</b>
<b>負債合計</b>			<b>-24,950</b>
<b>正味財産</b>			<b>20,585,676</b>

## 3. 2021年度会計監査報告

2021年4月1日から2022年3月31日までの2020年度会計年度における会計及び業務の監査に際し、関係書類を調査した結果、すべてが適正に処理されており、遺漏、過誤のないことを確認しました。

2022年6月10日

監事 久野 晃子